



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月23日

上場会社名 エムスリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2413 URL <http://corporate.m3.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 谷村 格 (TEL) 03-6229-8900
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 辻 高宏 配当支払開始予定日 —
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,378	33.5	4,312	23.6	4,448	27.7	2,619	29.2
24年3月期第2四半期	8,524	24.3	3,487	31.0	3,484	33.7	2,027	41.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,804百万円 (46.6%) 24年3月期第2四半期 1,912百万円 (47.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1,649.50	1,640.89
24年3月期第2四半期	1,287.49	1,273.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	24,781	19,036	74.0
24年3月期	23,017	17,480	73.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 18,339百万円 24年3月期 16,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2,500.00	2,500.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2 現時点において、平成25年3月期の配当予想額は未定です。今後の資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを勘案し、株主配当の水準を決定する予定です。

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	25,300	32.9	9,000	17.7	9,000	16.9	5,300	18.0	3,337.93

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

2 1株当たり予想当期純利益については、株式分割考慮後の平成25年3月期第2四半期期中平均株式数1,587,810株に基づいて算出しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）株式会社MICメディカル、除外 1社（社名）
（注）詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

（注）第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	1,588,524株	24年3月期	1,585,884株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1株	24年3月期	1株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	1,587,810株	24年3月期2Q	1,574,460株

（注）平成23年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成24年10月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っています。上記の株式数は、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して株式数を算出しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、平成24年10月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っています。「3. 平成25年3月期の連結業績予想」の1株当たり当期純利益は、当該株式分割の影響を考慮しています。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、平成24年10月23日（火）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	13
(8) 会計方針の変更等	13
(9) 注記事項	13
(10) 重要な後発事象	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当期においても医療従事者専門サイト「m3.com」の基盤強化を進め、医師会員は、当第2四半期連結累計期間において9千人増加の23.2万人に達しました。

既存サービスについては、顧客への各サービスの一層の浸透により、順調に推移しました。製薬会社向けのマーケティング支援サービスは、国内主要製薬会社のほぼ全社が既にご利用されている基本的な「提携企業」サービス、「m3.com」のプラットフォーム上で会員医師が主体的、継続的に高頻度で情報を受け取れる「MR君」サービス、会員医師に対してメールで直接アプローチする「m3MT」サービスと、意図や用途により選べるサービスメニューを提供しています。

また、会員医療従事者を対象とした調査サービス、会員へ医療情報以外のライフサポート情報を提供する「QOL君」などの一般企業向けマーケティング支援サービス、一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」（<http://www.AskDoctors.jp/>）、診療所の経営をサポートする「m3.com 開業・経営」、治験に参加する施設・対象患者を発見する治験支援サービス「治験君」等の新規サービスの拡充も進めています。

さらに、ITを活用した大規模臨床研究支援サービスを提供するメビックス株式会社（以下「メビックス」という）、医師、薬剤師向けの求人求職支援サービスを提供するエムスリーキャリア株式会社（以下「エムスリーキャリア」という）、クリニックの診療予約サービスを提供するアイチケット株式会社（以下「アイチケット」という）、医療用医薬品に関する広告代理店であるリノ・メディカル株式会社（以下「リノ・メディカル」という）、200以上の医療系学術団体が利用する会員制コミュニティサイト「学会研究会.jp」を運営する株式会社エムプラス（以下「エムプラス」という）、首都圏を中心に治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援する株式会社メディカル・パイロット（以下「メディカル・パイロット」という）、近畿、中国地方を中心に治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援する株式会社フジ・シー・アール・エス（以下「フジ・シー・アール・エス」という）においてもサービス展開を進め、グループ会社も拡大しています。

また、平成24年6月28日から平成24年7月26日まで、治験業務の支援を行う株式会社MICメディカル（以下「MICメディカル」という）に対して株券等の公開買付けを実施しました。本公開買付けの結果、MICメディカルは平成24年8月2日をもって当社の連結子会社となりました。さらに、平成24年10月31日をもって、電子カルテ等の開発・販売・サポートを手掛ける株式会社シィ・エム・エス（以下「シィ・エム・エス」という）を新たに連結子会社とする予定です。

海外においては、米国で、当第2四半期連結累計期間において、医療従事者向けウェブサイト「MDLinx」の医師会員が1.9万人増加し22.3万人となり、この会員基盤を活かした製薬会社向けマーケティング支援サービスの展開が順調に進んでいます。また、英国で19万人以上の医師会員を擁する医師向けウェブサイト「Doctors.net.uk」を運営するDoctors.net.uk Limited（以下「DNUK」という）においても、英国での製薬会社向けマーケティング支援サービスの展開を進めています。さらに、日本、米国、欧州、中国及び韓国に跨る100万人の医師パネルを構築し、医療分野においてグローバルな調査サービスを提供しています。

当第2四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりです。

（当期の業績）

（単位：百万円）

	平成24年3月期 第2四半期累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	平成25年3月期 第2四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	比較増減		（参考）
					前連結会計年度 （自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）
売上高	8,524	11,378	+2,853	+33.5%	19,040
営業利益	3,487	4,312	+824	+23.6%	7,648
経常利益	3,484	4,448	+963	+27.7%	7,695
四半期(当期)純利益	2,027	2,619	+592	+29.2%	4,492

（セグメントの業績）

（単位：百万円）

		平成24年3月期 第2四半期累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	平成25年3月期 第2四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	比較増減	
医療 ポータル	セグメント売上高	6,331	7,730	+1,399	+22.1%
	セグメント利益	3,660	4,342	+682	+18.6%
エビデンス ソリューション	セグメント売上高	907	1,626	+719	+79.3%
	セグメント利益	144	226	+81	+56.3%
海外	セグメント売上高	1,104	1,788	+683	+61.9%
	セグメント利益	34	12	△21	△62.1%
その他	セグメント売上高	305	374	+69	+22.6%
	セグメント利益	△3	23	+26	—
消去又は全社	セグメント売上高	(124)	(141)	—	—
	セグメント利益	(351)	(157)	—	—
合計	売上高	8,524	11,378	+2,853	+33.5%
	経常利益	3,484	4,448	+963	+27.7%

①医療ポータル

医療関連会社マーケティング支援分野の売上高は、4,506百万円（前年同期比18.9%増）となりました。製薬会社の利用の拡大により、「MR君」サービスの売上高が前年同期比16%増となったこと等により、全体としては前年同期比18.9%の増収となりました。

調査分野の売上高は643百万円（前年同期比2.9%増）となり、堅調に推移しました。

その他分野の売上高は、2,581百万円（前年同期比34.8%増）となりました。エムスリーキャリアにおける医師、薬剤師向け人材紹介事業及び求人広告事業が拡大しました。

これらの結果、医療ポータルセグメントの売上高は、7,730百万円（前年同期比22.1%増）となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費の総額は、エムスリーグループ業容拡大に伴う人件費増加等の要因により、3,382百万円（前年同期比26.6%増）となりました。

以上の結果、医療ポータルのセグメント利益は4,342百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

②エビデンスソリューション

メビックスにおいて各プロジェクトが進捗したことにより増収となった他、メディカル・パイロット、フジ・シー・アール・エス及びMICメディカルが新たに連結子会社に加わったことにより、売上高は1,626百万円（前年同期比79.3%増）、セグメント利益は226百万円（前年同期比56.3%増）となりました。

③海外

米国子会社M3 USAにM3 Global Research Limited（旧 EMS Research Limited）及びDNUKを加えた米英の売上高は、製薬会社向けマーケティング支援サービスの拡大と調査サービスの拡大及びDNUKが新たに連結子会社に加わったことにより、1,747百万円（前年同期比68.9%増）となり、韓国を含めた海外セグメントの売上高は1,788百万円（前年同期比61.9%増）となりました。海外セグメントの利益はグループ業容拡大に伴う人件費増加等の要因により12百万円（前年同期比62.1%減）となりました。

④その他

その他セグメントの売上高は、リノ・メディカル及びエムプラスの連結対象期間の差異（前年同期の4ヶ月に対し、当第2四半期連結累計期間は6ヶ月）等の要因により、売上高は374百万円（前年同期比22.6%増）となりました。また、セグメント利益は、持分法投資利益の改善等により23百万円（前年同期比26百万円改善）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は11,378百万円（前年同期比33.5%増）、営業利益は4,312百万円（前年同期比23.6%増）、経常利益は4,448百万円（前年同期比27.7%増）、四半期純利益は2,619百万円（前年同期比29.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

資産合計は、前連結会計年度末比1,763百万円増の24,781百万円となりました。現金及び預金が1,805百万円減少したことを主な要因に、流動資産は前連結会計年度末比571百万円減の14,247百万円となりました。また、株式会社メディサイエンスプランニング(以下「メディサイエンスプランニング」という)株式の取得等により投資有価証券が1,462百万円増加したこと及びMICメディカルの新規連結によるのれん1,001百万円の計上等により、のれんが688百万円増加したことを主な要因に、固定資産は2,334百万円増の10,534百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比207百万円増の5,744百万円となりました。MICメディカルの新規連結等に伴い賞与引当金が183百万円増加したことを主な要因に、流動負債は124百万円増の5,218百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末比1,556百万円増の19,036百万円となりました。剰余金配当1,321百万円を行った一方、四半期純利益2,619百万円を計上したことにより利益剰余金が1,297百万円増加したことが主な要因です。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末残高より1,918百万円減少し、7,753百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,451百万円の収入(前年同期比326百万円の収入増)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益4,430百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,910百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、MICメディカルへの出資に伴う連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2,042百万円、メディサイエンスプランニングへの出資等に伴う投資有価証券の取得による支出1,248百万円等により、3,098百万円の支出(前年同期比70百万円の支出増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、1,289百万円の支出(前年同期比92百万円の支出減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの当期業績については、増収増益となることを見込んでいます。

①医療ポータルセグメント

医療関連会社マーケティング支援分野については、引き続き「MR君」サービスの利用量の増加を中心とした継続的な拡大を見込んでいます。

調査分野は、製薬会社を中心とした着実な需要を背景に、調査サービスが堅調に推移すると見込んでいます。

その他分野においては、エムスリーキャリア及び「治験君」の成長を中心に、各サービスの拡大を見込んでいます。

費用については、一層の成長に向けた積極的な人員増等を計画していますが、既存サービスに直接関連する費用に関しては構造的な変化は見込んでいません。

以上の結果、医療ポータルセグメントは、増収増益を見込んでいます。

②エビデンスソリューションセグメント

エビデンスソリューションセグメントについては、大型プロジェクトの進捗に加え、メディカル・パイロット及びフジ・シー・アール・エスが増収に寄与する一方、前連結会計年度に一部の臨床試験の内容変更に伴う原価率の改善による一時的な利益が発生したことの反動等により、増収減益を見込んでいます。

③海外セグメント

海外セグメントについては、米国において「M3 Messages」、「MDLinx Clicks」等のマーケティング支援サービスや調査サービス等が拡大するとともに、DNUKも増収増益に寄与する見込みです。

④その他セグメント

その他セグメントについては、アイチケットのサービス拡大の他、リノ・メディカル及びエムプラスの貢献等により増収増益を見込んでいます。

以上に加えて、平成24年8月にMICメディカルを連結子会社化し、さらに平成24年10月にはシィ・エム・エスを連結子会社化する予定です。これらの子会社化による連結対象範囲の拡大に伴い、平成25年3月期の連結売上高予想を23億円上方修正し、業績見通しを、以下のとおりといたします。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	23,000	9,000	9,000	5,300
今回修正予想 (B)	25,300	9,000	9,000	5,300
増減額 (B-A)	+2,300	0	0	0
増減率 (%)	10.0	0.0	0.0	0.0
(ご参考) 前期実績 平成24年3月期	19,040	7,648	7,695	4,492

※ 上記業績予想につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間より、株式会社MICメディカルについては、新たに株式を取得したことから、連結の範囲に含めています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (8) 会計方針の変更等」をご参照ください。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,167,541	8,362,314
受取手形及び売掛金	3,609,928	4,192,344
有価証券	—	301,987
商品	2,605	2,195
仕掛品	89,325	103,598
その他	989,408	1,323,599
貸倒引当金	△40,351	△38,802
流動資産合計	14,818,458	14,247,236
固定資産		
有形固定資産	289,413	347,185
無形固定資産		
のれん	4,778,174	5,466,952
その他	852,979	889,998
無形固定資産合計	5,631,154	6,356,951
投資その他の資産		
投資有価証券	1,649,097	3,112,010
その他	754,197	827,369
貸倒引当金	△124,374	△109,191
投資その他の資産合計	2,278,920	3,830,188
固定資産合計	8,199,488	10,534,325
資産合計	23,017,946	24,781,561
負債の部		
流動負債		
買掛金	481,343	440,200
未払法人税等	1,963,472	1,802,148
ポイント引当金	806,102	948,809
賞与引当金	108,729	292,101
その他の引当金	49,959	45,685
その他	1,684,568	1,689,899
流動負債合計	5,094,174	5,218,845
固定負債		
退職給付引当金	12,998	13,373
繰延税金負債	71,435	165,565
その他	358,805	346,967
固定負債合計	443,239	525,906
負債合計	5,537,414	5,744,752

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,280,488	1,318,878
資本剰余金	1,508,881	1,547,270
利益剰余金	13,802,845	15,100,375
株主資本合計	16,592,214	17,966,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	276,301	463,223
為替換算調整勘定	44,626	△90,743
その他の包括利益累計額合計	320,927	372,480
新株予約権	105,079	115,212
少数株主持分	462,310	582,591
純資産合計	17,480,532	19,036,809
負債純資産合計	23,017,946	24,781,561

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	8,524,240	11,378,109
売上原価	2,151,914	2,930,615
売上総利益	6,372,326	8,447,494
販売費及び一般管理費	※1 2,884,401	※1 4,135,087
営業利益	3,487,925	4,312,407
営業外収益		
条件付取得対価に係る公正価値の変動益	23,419	—
投資有価証券売却益	—	114,443
その他	49,782	46,585
営業外収益合計	73,201	161,028
営業外費用		
為替差損	73,176	17,229
その他	3,464	7,855
営業外費用合計	76,641	25,085
経常利益	3,484,485	4,448,350
特別利益		
負ののれん発生益	35,012	—
その他	116	—
特別利益合計	35,128	—
特別損失		
持分変動損失	—	2,250
投資有価証券評価損	—	15,228
子会社清算損	3,907	—
特別損失合計	3,907	17,478
税金等調整前四半期純利益	3,515,706	4,430,872
法人税、住民税及び事業税	1,524,272	1,742,747
法人税等調整額	△151,180	△72,664
法人税等合計	1,373,091	1,670,083
少数株主損益調整前四半期純利益	2,142,615	2,760,789
少数株主利益	115,519	141,688
四半期純利益	2,027,095	2,619,100

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,142,615	2,760,789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△823	186,886
為替換算調整勘定	△228,663	△141,085
持分法適用会社に対する持分相当額	△307	△1,793
その他の包括利益合計	△229,794	44,007
四半期包括利益	1,912,820	2,804,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,825,366	2,670,652
少数株主に係る四半期包括利益	87,453	134,143

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,515,706	4,430,872
減価償却費	127,665	83,903
のれん償却額	109,517	192,420
負ののれん発生益	△35,012	—
条件付取得対価に係る公正価値の変動損益(△は益)	△23,419	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	15,228
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△114,443
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,298	△16,134
ポイント引当金の増減額(△は減少)	179,186	147,034
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,067	62,905
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10,158	375
その他の引当金の増減額(△は減少)	△15,561	△2,548
受取利息及び受取配当金	△12,926	△17,905
為替差損益(△は益)	73,176	17,229
持分法による投資損益(△は益)	△5,967	△7,086
売上債権の増減額(△は増加)	△444,935	△153,828
たな卸資産の増減額(△は増加)	26,662	20,981
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△48,749	△152,164
仕入債務の増減額(△は減少)	△81,204	△62,096
未払費用の増減額(△は減少)	133,097	△57,732
前受金の増減額(△は減少)	△15,204	△76,618
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△26,798	△20,414
その他	89,656	37,942
小計	3,537,499	4,327,919
利息及び配当金の受取額	33,681	34,784
利息の支払額	—	△752
法人税等の支払額	△1,446,170	△1,910,746
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,125,010	2,451,206
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,827	△16,404
定期預金の払戻による収入	50,000	50,000
拘束性預金の払戻による収入	—	95,972
有形固定資産の取得による支出	△54,481	△41,597
無形固定資産の取得による支出	△57,721	△43,442
敷金及び保証金の差入による支出	△237,099	△2,609
敷金及び保証金の回収による収入	—	3,678
投資有価証券の取得による支出	△192,032	△1,248,873
投資有価証券の売却による収入	—	148,443
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,584,387	△2,042,306
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	52,993	—
その他	△37	△918
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,027,592	△3,098,057

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△100,654	—
長期借入金の返済による支出	△79,838	—
株式の発行による収入	126,075	62,462
配当金の支払額	△1,307,542	△1,319,280
少数株主への配当金の支払額	△20,948	△63,179
その他	—	30,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,382,907	△1,289,997
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31,725	18,649
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,317,214	△1,918,199
現金及び現金同等物の期首残高	9,393,831	9,672,040
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 7,076,617	※1 7,753,840

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医療ポータル	エビデンス ソリューション	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,208,589	907,082	1,103,466	8,219,139	305,101	8,524,240
セグメント間の内部売上高 または振替高	122,937	—	1,077	124,014	217	124,231
計	6,331,527	907,082	1,104,543	8,343,153	305,318	8,648,472
セグメント利益(△損失)	3,660,774	144,925	34,014	3,839,714	△3,753	3,835,961

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機関向け各種情報提供サービス事業及び医療用医薬品に関する広告代理店事業等を含んでいます。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、新たにDoctors.net.uk Limitedの株式を取得し、連結の範囲に含めています。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、海外セグメントにおいて、2,581,118千円増加しています。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(単位:千円)
報告セグメント計	3,839,714
「その他」の区分の利益	△3,753
セグメント間取引消去	10,951
全社費用(注)	△362,427
四半期連結損益計算書の経常利益	3,484,485

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社グループの管理及び投資活動にかかる費用です。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

海外セグメントにおいて、新たにDoctors.net.uk Limitedの株式を取得し連結の範囲に含めたことから、当第2四半期連結累計期間においてのれんが2,478,733千円増加しています。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	医療ポータル	エビデンス ソリューション	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,594,344	1,621,867	1,788,186	11,004,398	373,711	11,378,109
セグメント間の内部売上高 または振替高	136,550	4,220	—	140,770	657	141,427
計	7,730,894	1,626,087	1,788,186	11,145,168	374,368	11,519,536
セグメント利益	4,342,932	226,471	12,884	4,582,288	23,132	4,605,420

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機関向け各種情報提供サービス事業及び医療用医薬品に関する広告代理店事業等を含んでいます。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、新たに株式会社メディサイエンスプランニングの株式を取得し、持分法適用の範囲に含めています。また、当第2四半期連結会計期間において、新たに株式会社MICメディカルの株式を取得し、連結の範囲に含めています。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、エビデンスソリューションセグメントにおいて、4,138,742千円増加しています。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（単位：千円）
報告セグメント計	4,582,288
「その他」の区分の利益	23,132
セグメント間取引消去	△930
全社費用（注）	△156,139
四半期連結損益計算書の経常利益	4,448,350

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社グループの管理及び投資活動にかかる費用です。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

エビデンスソリューションセグメントにおいて、新たに株式会社MICメディカルの株式を取得し連結の範囲に含めたことから、当第2四半期連結累計期間においてのれんが1,001,476千円増加しています。

5 報告セグメントの変更等に関する事項

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社では定率法を採用する一方、一部の海外連結子会社では定額法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、当社及び主要な国内連結子会社においては定額法に変更しております。

これは、今後更なるグローバルな事業展開が加速し海外における有形固定資産の増加が見込まれること、また、当社及び主要な連結子会社の有形固定資産の保有状況を見直した結果、耐用年数内で安定的に使用される資産が大半を占めていることから、グループの会計方針の統一と期間損益の適正化の観点から変更するものです。

この変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

① 連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、株式会社MICメディカルについては、新たに株式を取得したことから、連結の範囲に含めています。

なお、新たに株式を取得した株式会社MICメディカルに関する連結の範囲の変更については、当第2四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与えると見込んでおります。影響の概要については、「企業結合等関係」に記載しております。

② 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式会社メディサイエンスプランニングについては、新たに株式を取得したことから、持分法適用の範囲に含めています。

(8) 会計方針の変更等

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社では定率法を採用する一方、一部の海外連結子会社では定額法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より当社及び主要な国内連結子会社においては定額法に変更しております。

これは、今後更なるグローバルな事業展開が加速し海外における有形固定資産の増加が見込まれること、また、当社及び主要な国内連結子会社の有形固定資産の保有状況を見直した結果、耐用年数内で安定的に使用される資産が大部分を占めていることから、グループの会計方針の統一と期間損益の適正化の観点から変更したものです。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(9) 注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
	(千円)	(千円)
報酬・給与	786,745	1,252,583
販売促進費	459,030	647,957
賞与引当金繰入額	63,807	154,634
ポイント引当金繰入額	180,225	123,044

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
	(千円)	(千円)
現金及び預金勘定	7,430,158	8,362,314
預入期間3ヶ月超の定期預金	△251,735	△591,942
拘束性預金	△101,805	△16,531
現金及び現金同等物	7,076,617	7,753,840

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年4月25日 取締役会	普通株式	1,310,100	5,000	平成23年3月31日	平成23年6月6日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月26日 取締役会	普通株式	1,321,570	2,500	平成24年3月31日	平成24年6月11日	利益剰余金

(注)平成23年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

取得による企業結合

1 株式会社MICメディカルの取得

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称 株式会社MICメディカル
 被取得企業の事業の内容 臨床開発業務を支援するCRO(Contract Research Organization:医薬品開発業務受託機関)事業
 企業結合を行った主な理由 治験支援サービスの展開のため
 企業結合日 平成24年8月2日
 企業結合の法的形式 株式取得
 結合後企業の名称 株式会社MICメディカル
 取得した議決権比率 96.7%
 取得企業を決定するに至った主な根拠 現金を対価として株式会社MICメディカルの株式を96.7%取得したため

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成24年7月31日をみなし取得日としており、かつ、当該子会社については、平成24年8月31日現在の財務諸表を基礎として連結決算を行っているため、平成24年8月1日から平成24年8月31日までの業績が含まれています。

(3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

被取得企業の取得原価 2,566,948千円
 取得原価の内訳
 株式取得費用(現金) 2,459,583千円
 株式取得に直接要した支出額(デューデリジェンス費用等) 107,364千円

(4) 発生したのれんの金額等

のれん金額 1,001,476千円
 発生原因 治験関連事業の今後の事業展開によって期待される将来の収益力に関連して発生したもの
 償却方法及び償却期間 のれん金額については、20年間で均等償却しています。

(5) 企業結合日(みなし取得日)に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産 1,709,154千円
 固定資産 227,897千円
 資産計 1,937,051千円
 流動負債 318,697千円
 負債計 318,697千円
 少数株主持分 52,882千円

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	1,287.49円	1,649.50円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額（千円）	2,027,095	2,619,100
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	2,027,095	2,619,100
普通株式の期中平均株式数（株）	1,574,460	1,587,810
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	1,273.50円	1,640.89円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	17,286	8,335
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

（注）当社は、平成23年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を、平成24年10月1日付で株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しています。

(10) 重要な後発事象

1 株式分割

平成24年7月27日開催の取締役会の決議に基づき、平成24年10月1日付をもって、次のとおり株式分割による新株式を発行しています。

(1) 株式分割の目的

投資単位当たりの金額の引下げ及び株式の流動性向上により、より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

平成24年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有する当社普通株式1株につき3株の割合をもって分割しました。

②分割により増加する株式数

平成24年9月30日現在の発行済株式総数	529,508株
今回の分割により増加する株式数	1,059,016株
株式分割後の発行済株式総数	1,588,524株
株式分割後の発行可能株式総数	5,760,000株

(3) 株式分割の日程

平成24年9月30日を基準日とし、平成24年10月1日を効力発生日としております。

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、「1株当たり情報」に記載しています。

2 株式取得による会社等の買収

平成24年10月23日開催の取締役会において、株式会社シィ・エム・エス（以下「シィ・エム・エス」という）の株式を取得することを決議しました。平成24年10月31日付でシィ・エム・エスの普通株式4,000株（総議決権に占める割合100.0%）を取得し、同社は当社の連結子会社となる予定です。

(1) 企業結合の概要

- | | |
|--------------------|--|
| ①被取得企業の名称 | 株式会社シィ・エム・エス |
| ②被取得企業の事業の内容 | 電子カルテの開発・販売・サポート、医療会計用コンピュータの製造・販売・サポート |
| ③企業結合を行った主な理由 | 電子カルテと治験を融合した新しいビジネスモデルの共同開発、m3.comの会員医師基盤を活用した電子カルテの利用促進等 |
| ④企業結合日 | 平成24年10月31日（予定） |
| ⑤企業結合の法的形式 | 株式取得 |
| ⑥結合後企業の名称 | 株式会社シィ・エム・エス |
| ⑦取得した議決権比率 | 100.0% |
| ⑧取得企業を決定するに至った主な根拠 | 現金を対価としてシィ・エム・エスの株式を100.0%取得するため |

(2) 被取得企業の取得原価及びその内訳

被取得企業の取得原価 400,000千円

取得原価の内訳

株式取得費用（現金） 400,000千円

なお、支払資金の調達方法は、全て自己資金によっております。

(3) 発生したのれんの金額等

現時点において確定しておりません。

(4) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点において確定しておりません。

(5) 被取得企業の規模（平成24年3月期）

売上高	2,342,251千円
売上総利益	1,620,502千円
営業利益	69,309千円
経常利益	95,377千円
当期純利益	52,410千円
総資産	1,166,712千円
純資産	222,038千円